

涌谷町



獅子舞絵馬

涌谷町内で受け継がれている涌谷町指定無形民俗文化財の「古式獅子舞こしきししまい」について、江戸時代の状況を極めて写実的に描写した最古の絵馬です。獅子舞の由来や種別、芸態等を解明する上で極めて貴重なものとなっています。

一部、表面の色彩が剥がれ、文字がかすんでしまっていますが、板絵に彩色がいたえ施されており、文久2年（1862）9月9日に奉納されたことが分かります。



大きさは横 150 cm × 縦 118 cm で、絵師は三枝徳三郎です。

この色あせた状態の絵馬を見て、後世に絵馬のもしや内容を伝えたいという思いから町内の方が模写した絵もあり、獅子舞が地域に愛される芸能であることを伝えてくれます。